

都市再生整備計画 事後評価シート
千曲川リバーサイド地区(第Ⅱ期)

平成31年1月

長野県上田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	上田市		地区名	千曲川リバーサイド地区(第Ⅱ期)			面積	558ha	
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	582	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業 (市道)上田橋中島線 ・道路事業 (市道)櫛下泉平線 ・道路事業 (市道)古舟側道6号線 他 ・地域生活基盤施設 尼が淵桜の回廊 ・地域生活基盤施設 (市道)天神3の2号線 他 ・地域生活基盤施設 諏訪部地区内水対策 ・高質空間形成施設 (市道)城下停車場線 									
		提案事業	・地域創造支援事業 別所線再生支援事業									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業 (市道)仮称・諏訪部4号線 ・高質空間形成施設 (市道)上田橋中島線 ・地域生活基盤施設 耐震性貯水槽 			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	なし						影響無し			
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	なし									
交付期間の変更	当初	平成25年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	床上・床下浸水の家屋数	棟/5年	32	H24	10	H29	○	ありなし	事業実施の効果が表れた。		
	指標2	地区内の居住世帯数	世帯	11,774	H24	11,980	H29	○	ありなし	事業の実施のほか。大型施設の開店、大規模な住宅団地の整備等による。		
	指標3	地区内の交通事故件数	件/5年	458	H24	405	H29	○	ありなし	事業の実施や、新たな交通規制等の実施により、大幅に交通事故件数が減少した。		
	指標4	鉄道輸送障害(運休含)の件数	件/5年	10	H24	5	H29	×	ありなし	未達成ではあるが、支援実施翌年度からは鉄道輸送障害が減少している。	平成31年5月	
	指標5								ありなし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果□ 発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況								今後の対応方針等
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
持続的なまちづくり体制の構築	別所線再生支援協議会の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● 引き続き、利用者拡大や安全輸送に向けた支援体制を継続する。	

様式2-2 地区の概要

千曲川リバーサイド地区(第Ⅱ期)(長野県上田市)都市再生整備計画事業の成果概要

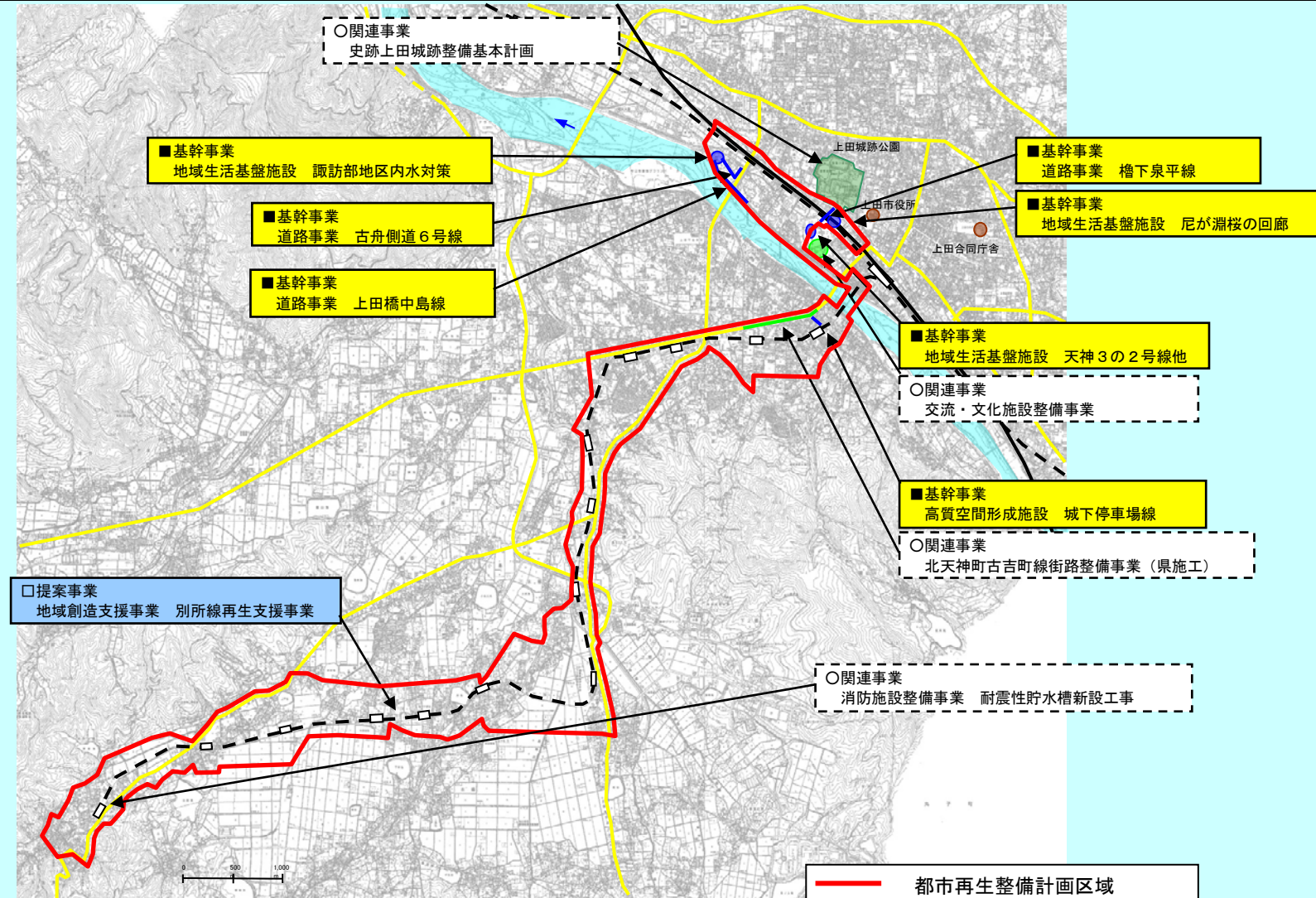
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
城下町のたたずまいと中心市街地の新拠点が調和・融合した、次世代が住み続けたいと思えるまちづくりを推進する。 ①安全で安心して暮らせるまちづくりの推進を図るため、水害や地震等、災害への備えの強化と減災対策の実施 ②歩行者・鉄道・自転車等の総合交通ネットワークの充実による安全性・安定性・利便性・回遊性の確保及び向上と低炭素まちづくりの推進 ③上田城跡南側周辺の地域特性を活かした誇りと愛着が持てる景観の保全と新たな景観の創出	床上・床下浸水の家屋数	単位:棟/5年	32	H24	10	H29	3	H29
	地区内の居住世帯数	単位:世帯	11,774	H24	11,980	H29	12,869	H29
	地区内の交通事故件数	単位:件/5年	458	H24	405	H29	306	H29
	鉄道輸送障害(運休含)の件数	単位:件/5年	10	H24	5	H29	21	H29



【市道榎下泉平線(基幹:道路事業)】



【市道上田橋中島線(基幹:道路事業)】



【別所線再生支援事業(提案:地域創造支援事業)】



【市道天神3の2号線 他(基幹:地域生活基盤施設)】

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 市道榎下泉平線の整備により、既存中心市街地との連続性と回遊性が向上した。また、上田橋中島線の整備により、中心市街地へのアクセスに対する交通の分散化や渋滞緩和がされた。 内水対策として、過去に浸水被害のあった地区に雨水調整池を整備し、改善が図られた。 関連事業により、耐震性貯水槽を整備し、災害時の飲料水の確保が図られた。 別所線再生支援事業により、千曲川橋梁の補強や排水路改修工事等を支援し、安全強化がされた。 尼が淵桜の回廊の整備により、情景のある新たな修景施設の整備を行った。 市道 天神3の2号線 他の事業により、交差点名の設置を行い、利便性が向上された。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 中心部へのアクセス性を高める主要骨格道路の整備の推進に向け、国・県との連携を図りながら、幹線道路及び生活道路の整備を行っていく。 公共交通の一翼を担い、低炭素まちづくりにも寄与する地方鉄道(地域の足)の安全運行を確保するため、継続的な支援を行う。 電線、電柱類を除去し、景観の保全に取り組む必要がある。 少子高齢化に対応した交通体系づくりを目指し、高齢者・車椅子・自転車が安全に通れる道路環境の整備を行っていく必要がある。